年齢別事故の具体的な注意点

子どもの発達とおこりやすい事故

	運動機能の発達	転落	切傷・打撲	熱傷	窒息	交通事故	玩具	溺水事故	はさむ事故	誤飲
誕生		親が子どもを落とす		熱いミルク 熱い風呂	枕、柔らかい布団による窒息、吐乳	自動車同乗中の事故		入浴時の事故		
3か月	体動・足をバタバタさせる	ベット、ソファーよりの転落							家のドア	
4か月										
5か月	見たものに手を出す 口の中に物を入れる		床にある鋭いもの（床の上）	ポット、食卓の湯、アイロン			小さな玩具の誤飲 鋭い角のある玩具プラスチックの接合部分のささくれ			タバコ
6か月	寝返りを打つ					母親との自転車２人乗り				
7か月	すわる	歩行器による転落								
8か月	はう	階段からの転落		ストーブ、炊飯器、タバコ		道でのヨチヨチ歩き、歩行中の事故、飛び出し		浴槽への転落事故		ボタンなどの小物
9か月	物をつかむ	バギーや椅子からの転落			ひも、よだれかけ				引き出し	
10か月	家具につかまり立ちをする	浴槽への転落	鋭い角の家具、建具カミソリのいたずら							
11か月					ナッツ類					化粧品・薬品・洗剤
12か月	一人歩きをする	階段の昇り降りの転落								
13か月	スイッチ、ノブ、ダイヤルをいじる	椅子、窓、バルコニーからの転落	テーブルや机の角、引き出しの角など（家の中）		ビニール袋					
1歳半	走る、登る									
2歳	階段を昇り降りする	ブランコからの転落		マッチ、ライター、湯沸かし器、花火			スベリ台、ブランコ、花火	プール、川、海の事故	乗り物のドア	
3歳	高い所へ登れる		家外の石など			三輪車の事故				
3～5歳						自転車の事故				
予防のポイント		・ベッドの柵は必ずつけておく ・ベランダに踏み台になるものを置かない	・包丁・カミソリが入っている扉は開かないようにする	・やけどにつながるものを手の届くところに置かない ・ストーブの前に柵をする ・テーブルクロスはしない	・布団は固めのものを選ぶ ・うつ伏せ寝をさせない ・添い寝をしながら乳をやらない ・ピーナツやあめ玉などは手の届くところに置かない	・危険なことをした場合には毅然とした態度で叱るなど安全のしつけをする	・子どもが一人遊びにならないように見守る	・浴槽に水をためておかない ・浴室にカギをかける ・洗濯機に水を入れたままにしない	・手をはさまないように工夫する	・誤飲につながるものを手の届くところに置かない